

令和7年1月～12月 奈良県宿泊統計調査 結果の概要

- ・**延べ宿泊者数**は、令和6年比**9.3%増加**の**3,604,554人**であり、平成21年に「奈良県宿泊統計調査」を開始して以来、**過去最多**の延べ宿泊者数となりました。
- ・**外国人延べ宿泊者数**は、令和6年比**38.7%増加**の**705,995人**、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年比**33.4%増**となり、**過去最多**の外国人延べ宿泊者数となった。

奈良県宿泊統計調査の概要

- ・県内の宿泊動向を把握するため、四半期毎に調査対象となる宿泊施設※に調査票を送付し、調査を実施した。
- ・営業形態(ホテル、旅館、簡易宿所、キャンプ場)別、6つのエリア別に延べ宿泊者数、外国人延べ宿泊者数、客室稼働率等を推計した。
- ・旅館業の営業許可を受けている観光・ビジネス向け(ラブホテル・ラブホテルと思われる施設を除く)宿泊施設から、確認失効、休業施設を除いた数である。

推計方法

延べ宿泊者数

- ①エリア別、業態別に回答のあった宿泊施設の月別の「延べ宿泊者数」を「定員数に月中営業日数を乗じた数値」で除して、平均定員稼働率を求める。
- ②県内610件の宿泊施設のエリア別、業態別の総定員数を求める。
- ③②で求めた総定員数に①で求めた月別平均定員稼働率を乗じる。

外国人宿泊者数

- ①外国人宿泊者数の回答のあった施設の月中延べ宿泊者数に対する外国人宿泊者数の比率を求める。
- ②①で求めた比率に県内610件の宿泊施設のエリア別、業態別の総宿泊者数を乗じる。

外国人延べ宿泊者の国籍割合

- ①外国人延べ宿泊者数の国籍割合について、回答のあった施設の人数を合計する。
- ②各国籍別人数の合計を①で求めた合計で除して、割合を求める。

客室稼働率

「客室稼働率」の記載のある宿泊施設については当該数値を用い、記載のない宿泊施設については、「延べ客室稼働数」を「月末現在客室数に月中営業日数を乗じた数値」で除して求めた数値を用いた。

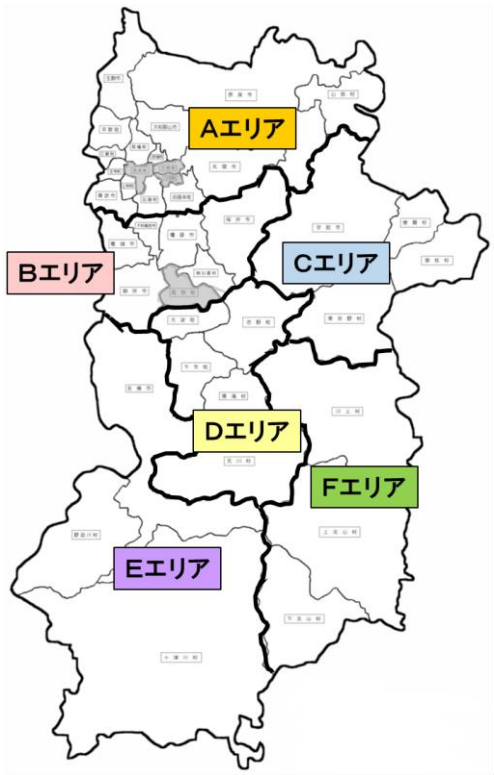
奈良県宿泊統計調査 エリア内訳

エリア別施設数等

エリア	宿泊施設数 (件)	客室数 (室)	定員数 (人)	回収数 (件)	回収率 (%)
A	279	7,232	20,164	150	53.8%
B	66	1,029	2,725	43	65.2%
C	57	325	1,573	32	56.1%
キャンプサイト		74	441		
D	122	1,005	5,374	67	54.9%
キャンプサイト		300	1,222		
E	52	419	1,667	33	63.5%
キャンプサイト		20	92		
F	34	239	1,186	19	55.9%
キャンプサイト		51	120		
合計	610	10,249	32,689	344	56.4%
キャンプサイト		445	1,875		

※キャンプサイトは外数

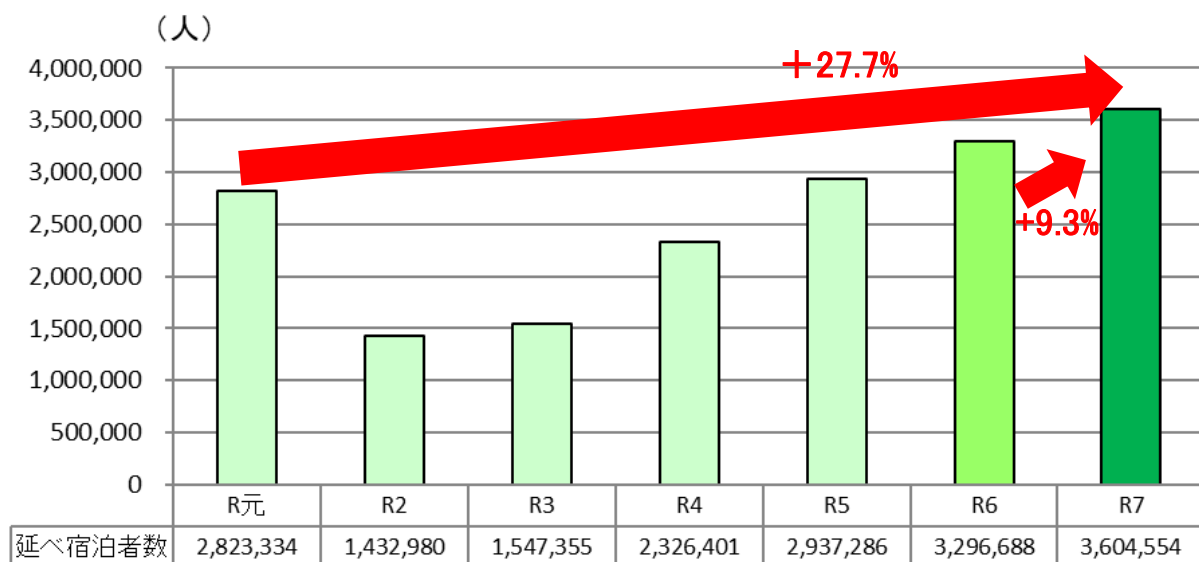
各エリアの市町村一覧



A	奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、王寺町、斑鳩町、安堵町、上牧町、広陵町、三宅町、田原本町、山添村
B	大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、明日香村
C	宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村
D	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
E	五條市、野迫川村、十津川村
F	川上村、上北山村、下北山村

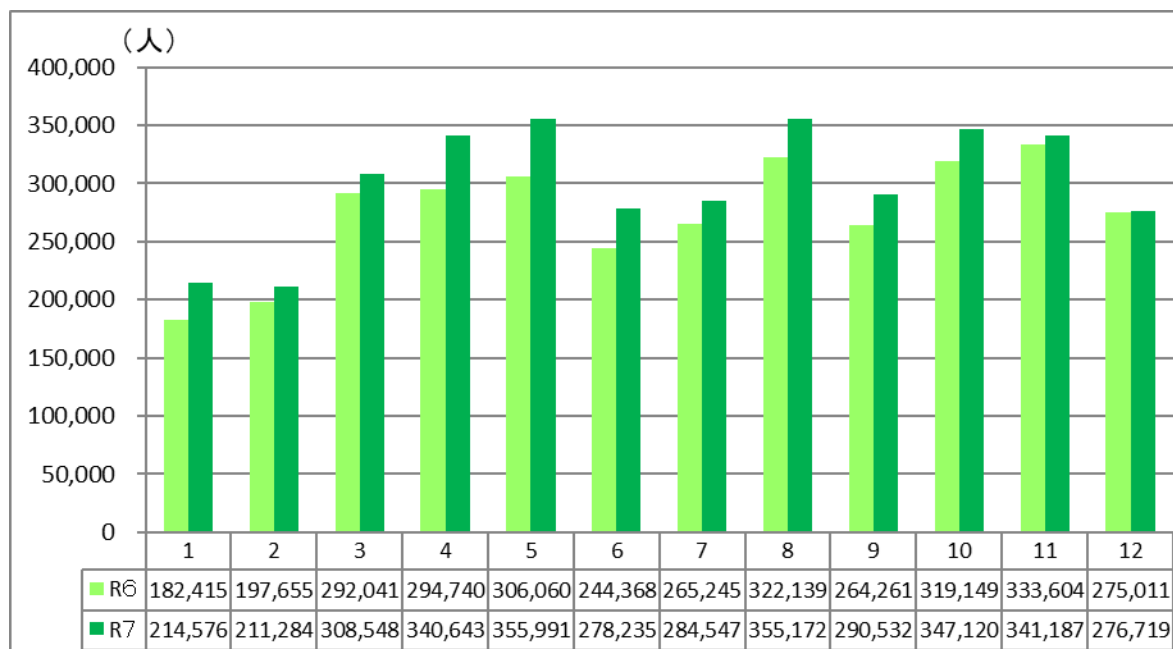
※対象宿泊施設無し：葛城市、河合町、川西町、高取町

延べ宿泊者数の推移(R元～R7年)



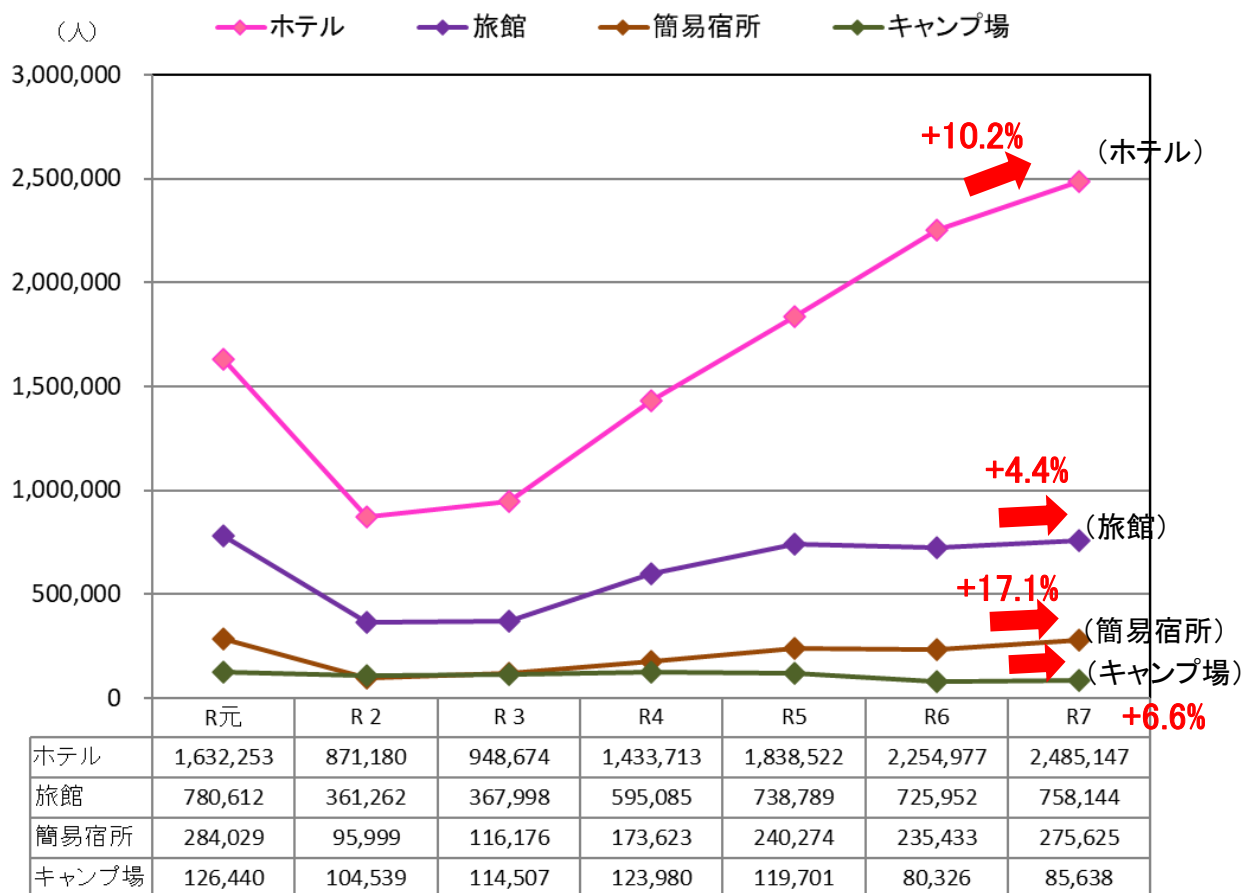
- ・令和6年と比べ、307,866人(9.3%)増加した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比べても、781,220人(27.7%)増加した。なお、平成21年に「奈良県宿泊統計調査」を開始して以来、過去最多の延べ宿泊者数となった。

延べ宿泊者数の月別推移



- ・令和7年は、大阪・関西万博開催による周辺観光の宿泊者に加え、外国人旅行者が引き続き増加したことなどから、宿泊者数が令和6年と比べて増加した。
- ・南部・東部地域では、物価高による旅行控え、宿泊施設の人手不足、夏の猛暑に加え、大阪・関西万博に宿泊客を奪われるなど厳しい状況となった。

業態別延べ宿泊者数の推移(R元～R7年)



令和6年比較

ホ テ ル	令和6年比	230,170人増加(+10.2%)
旅 館	令和6年比	32,192人増加(+4.4%)
簡 易 宿 所	令和6年比	40,192人増加(+17.1%)
キャンプ場	令和6年比	5,312人増加(+6.6%)

令和元年※比較

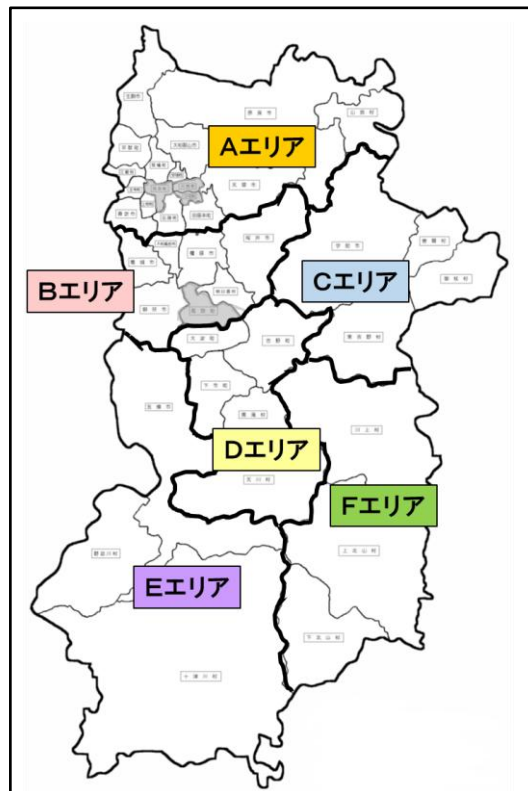
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大前

ホ テ ル	令和元年比	852,894人増加(+52.3%)
旅 館	令和元年比	22,468人減少(▲2.9%)
簡 易 宿 所	令和元年比	8,404人減少(▲3.0%)
キャンプ場	令和元年比	40,802人減少(▲32.3%)

- ・ 令和7年は、令和6年と比べて全業態で宿泊者数が増加した。
- ・ 新型コロナ感染症拡大前である令和元年に比べて、ホテルは増加したが、旅館、簡易宿所、キャンプ場は減少した。キャンプ場は令和元年比では、32.3%減少した。

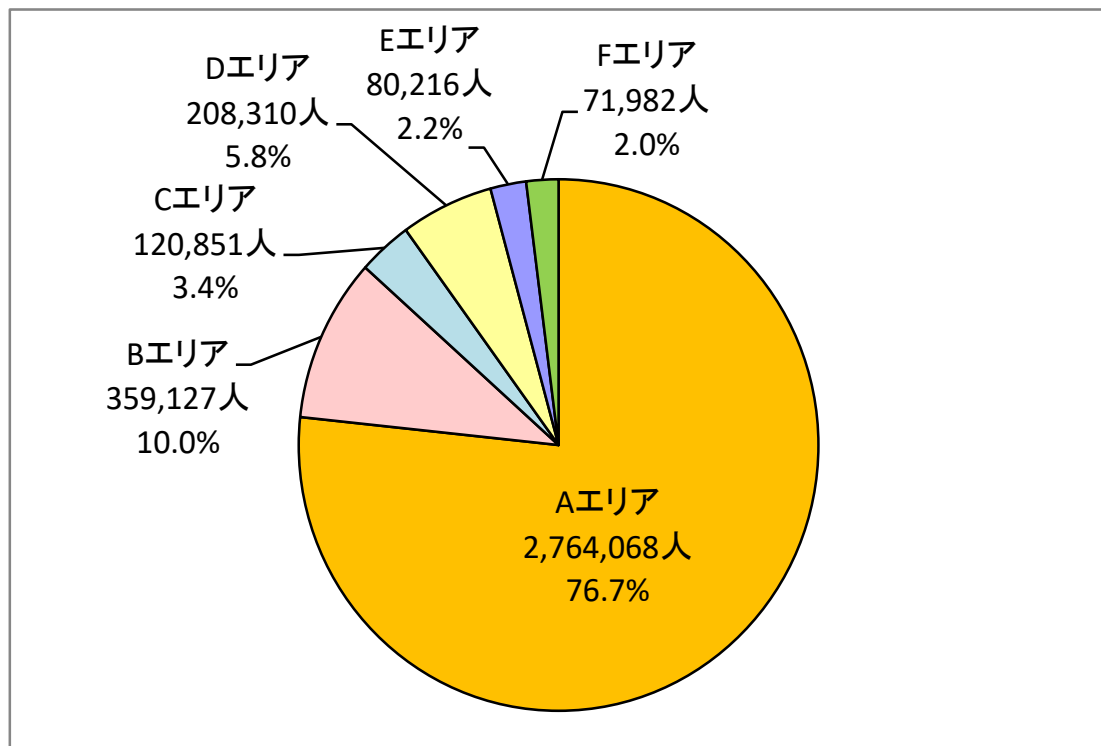
エリア別延べ宿泊者数の割合

各エリアの市町村一覧

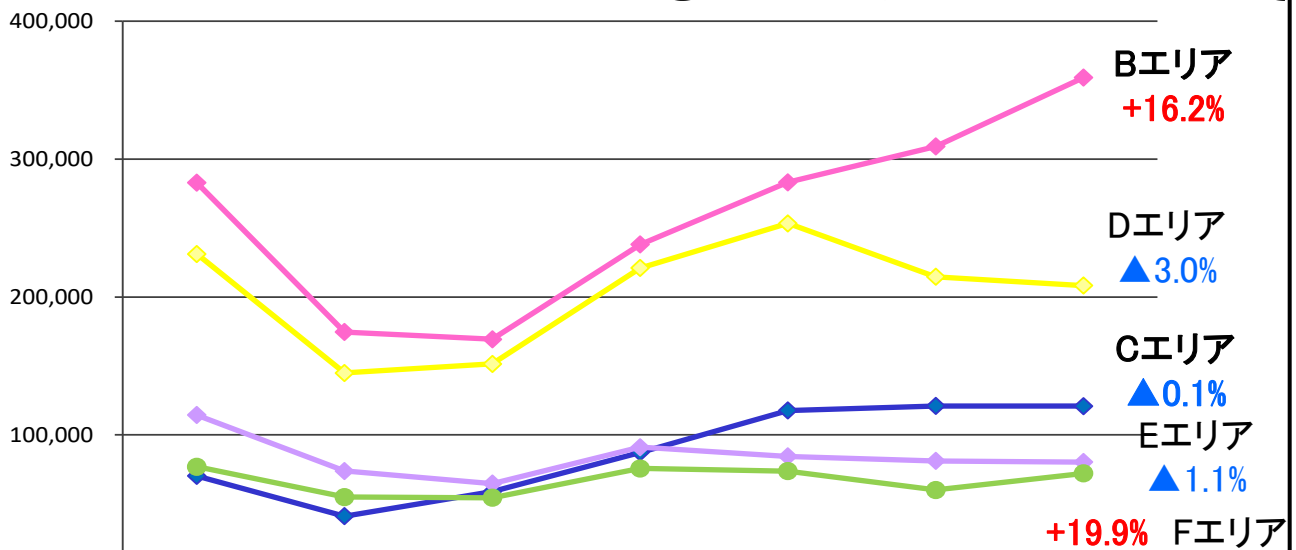
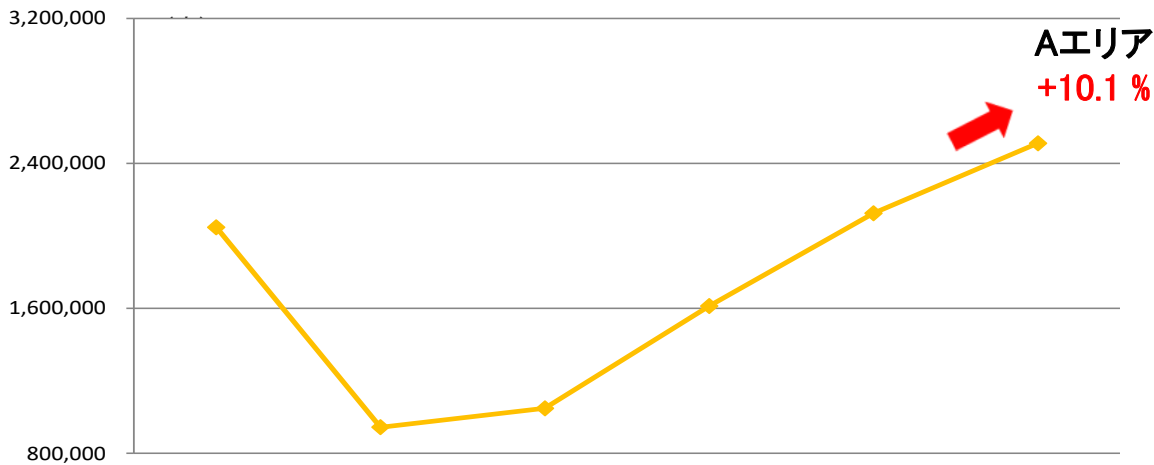


A	奈良市、生駒市、天理市、大和郡山市、香芝市、平群町、三郷町、王寺町、斑鳩町、安堵町、上牧町、広陵町、三宅町、田原本町、山添村
B	大和高田市、橿原市、桜井市、御所市、明日香村
C	宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村
D	吉野町、大淀町、下市町、黒滝村、天川村
E	五條市、野迫川村、十津川村
F	川上村、上北山村、下北山村

※対象宿泊施設無し：葛城市、河合町、川西町、高取町



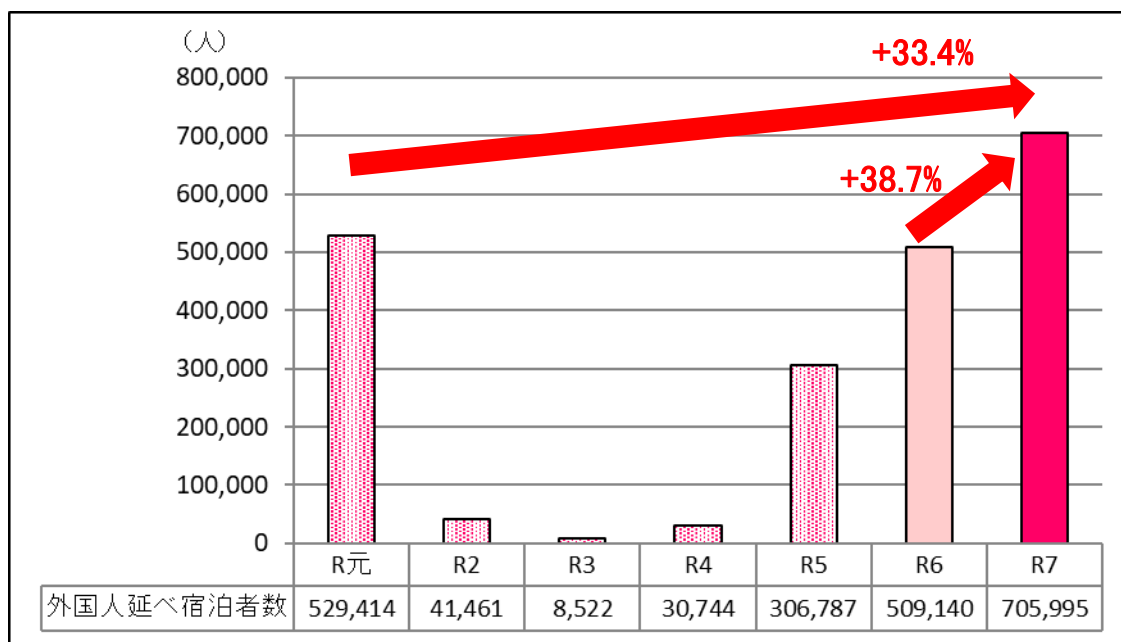
エリア別延べ宿泊者数の推移(R元～R7年)



	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
A	2,047,844	943,839	1,048,597	1,613,333	2,124,983	2,510,728	2,764,068
B	282,942	174,603	169,348	238,115	283,247	309,192	359,127
C	70,146	41,030	58,905	87,207	117,678	120,936	120,851
D	231,209	144,935	151,493	221,040	253,355	214,706	208,310
E	114,320	73,732	64,659	91,054	84,314	81,082	80,216
F	76,873	54,841	54,353	75,652	73,709	60,044	71,982

- 令和6年と比べて、Aエリア、Bエリア、Fエリアの宿泊者数が増加している。
Aエリアは外国人旅行者の伸びが大きく、Fエリアは国道169号線崩土に伴い、昨年宿泊者数が大きく減少した影響と思われる。
- 新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比べて、外国人旅行者の多い北部エリアが増加する一方、南部エリアの回復が遅れている。

外国人延べ宿泊者数の推移(R元～R7)

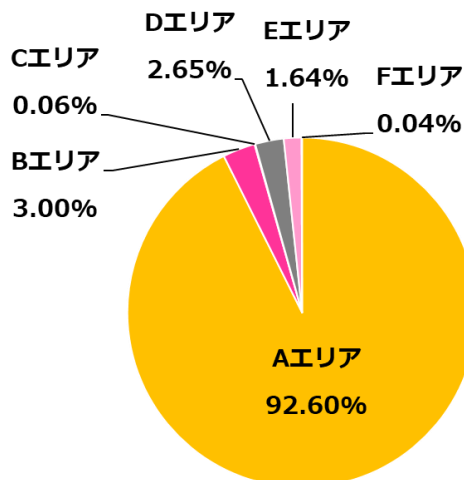


- ・外国人延べ宿泊者数 705,995人
- ・令和6年との比較 196,855人増加 (+38.7%)
- ・令和元年との比較 176,581人増加 (+33.4%)

- ・大阪・関西万博開催で、周辺観光の宿泊者が増加したことに加え、円安が寄与し、宿泊者数は令和6年と比べて増加した。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比較すると、昨年までは減少であったが、今年から増加に転じ、過去最多の外国人延べ宿泊者数となった。

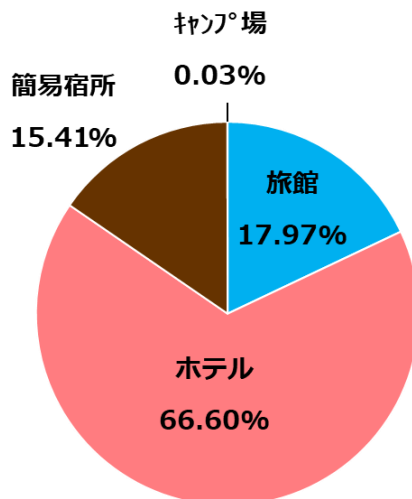
外国人延べ宿泊者数の割合

R7年 エリア別外国人延べ宿泊者数



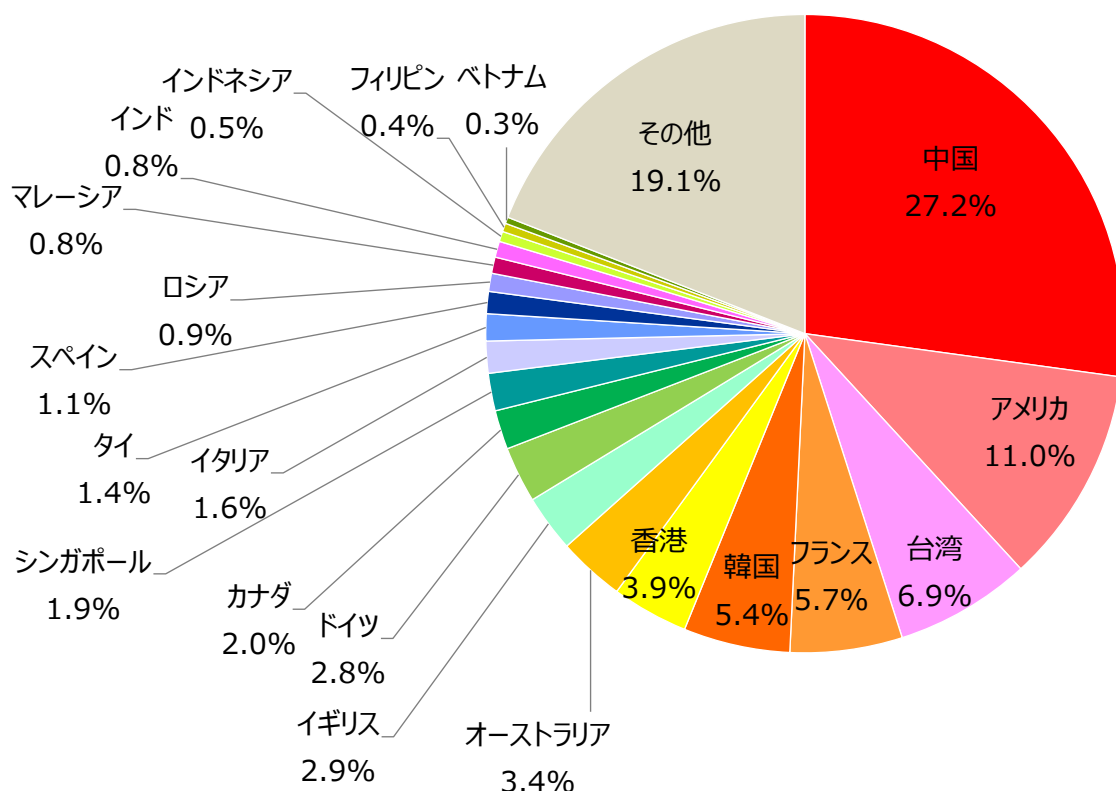
- ・ 令和6年同様、約9割がAエリアに集中。
- ※Aエリアの外国人延べ宿泊者数は令和6年と比べ、38.5%増加した。

R7年 業態別外国人延べ宿泊者数



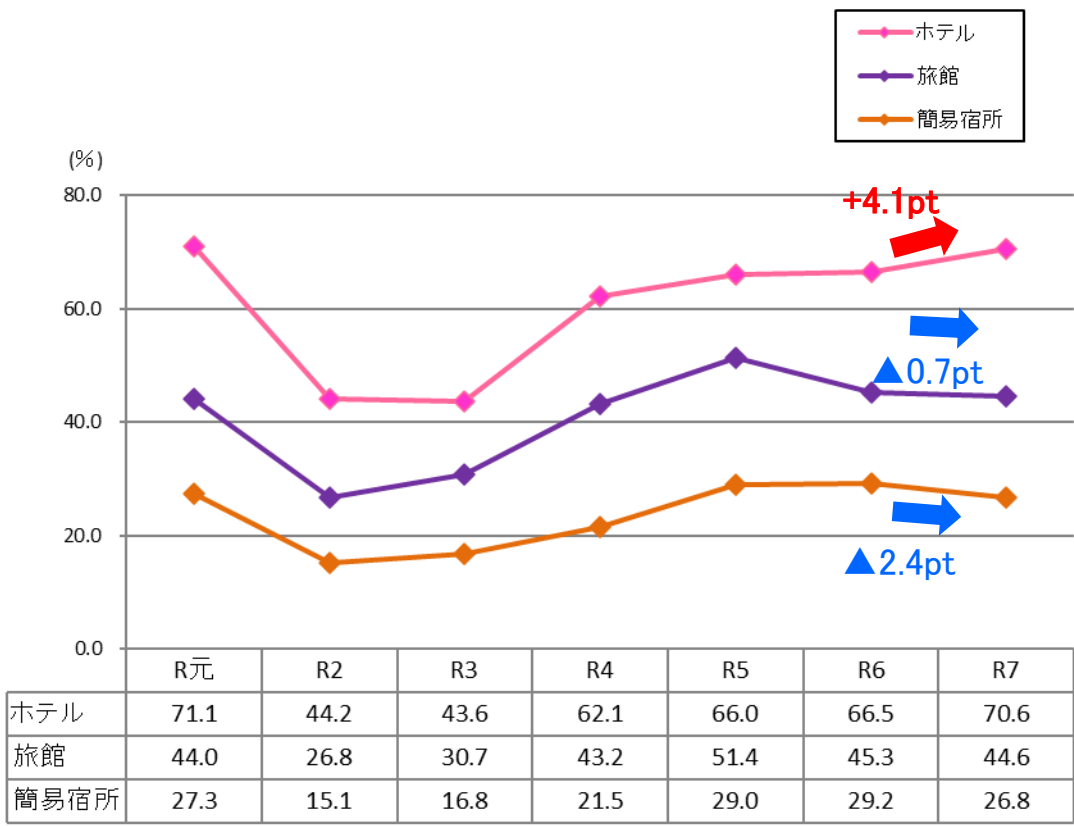
- ・ 業態別ではホテルに約7割が集中。

外国人延べ宿泊者の国籍割合



※国別割合は小数点以下の端数処理の関係で、合計は100.0%にならない場合がある。

客室稼働率の推移(R元～R7年)



令和6年比較

ホテル 令和6年比 4.1ポイント上昇
 旅館 令和6年比 0.7ポイント低下
 簡易宿所 令和6年比 2.4ポイント低下

令和元年※比較

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大前

ホテル 令和元年比 0.5ポイント低下
 旅館 令和元年比 0.6ポイント上昇
 簡易宿所 令和元年比 0.5ポイント低下

- ・ 令和6年と比べ、ホテルは稼働率が上昇、簡易宿所と旅館は低下。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年と比べて、旅館は上昇したものの、ホテルおよび簡易宿所は低下した。